

巻 頭 言

当院の日頃の研究、業務の成果を発表した第14回合同発表会、海外研修報告などで構成された、京都市立病院紀要第37巻1号をお届けします。

さて、今年度の平成30年2月17日（土）に、森本病院長当番会長の元、当院が当番病院となり、日本医療マネジメント学会第15回京滋支部学術集会が開催されます。

学会は主に、基調講演、特別講演、一般演題から構成されて、今回は、「医療の質の向上～地域から選ばれたる病院になるため～」というテーマで、病院機能の向上に関する諸問題への取り組みを発表し、今後の病院経営、医療の質の向上と人材育成などに活かす学術集会となっています。

また、平成30年4月の医療・介護の報酬改定を目前にして、様々な情報が出ている時期の開催となり、より一層活発な議論がなされるでしょう。

京滋支部学術集会では、一般演題が病院経営、医療の質、地域連携、医療安全、看護業務、患者サービス、クリティカルパス、教育など多岐にわたり、当院といたしまして、合同発表会同様に、幅広い分野での取組の発表があることを期待するとともに、今回参加される病院の今後の取組に活かされるような学術集会となるよう運営に参加したいと思います。

最後に、今号の執筆、編集に携わった皆さんに感謝致します。ありがとうございました。

平成29年9月

京都市立病院薬剤科

部長 村岡 淳 二